学校名		弘罢詡司左口					<b>能</b> 大林				
キャットミュージッ	クカレベ	設置認可年月日   校長名   所在地   〒564-0062									
ジ専門学校		昭和63年3月30	日	井原 延治	大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-1101						
設置者名		設立認可年月	日	代表者名		(电品) 00 0000	所在地				
学校法人大阪創	那学周	昭和63年3月30	ηТ	鈴木 雅文	〒564-		0_10				
			1		入阪府	次田市垂水町3-2 (電話)06-6369	9−18 9−1101				
分野	=3 p/	定課程名		認定学	科名		専門士		高度	専門士	
文化·教養	文化・	教養専門課程		ミュージシャン学科	ソロボー	カル専攻	平成17年文部科学省 告示第176号	ľ		-	
学科の目的			法に基	ながき音楽表現及び楽曲	制作に関	し必要とされる技能	************************************	上を図	図ることを目的と	する。	
認定年月日	平成264	手 3月31日 全課程の修了に必要な									
修業年限	昼夜	総授業時数又は総単位 数		講義		演習	実習		実験	実技	
2 年	昼間	1728		384		384	960		0	0 単位時間	
生徒総定		生徒実員		留学生数(生徒実員の内	Į	厚任教員数	兼任教員数		総	<b>教員数</b>	
200人		105人		1人		10人	33人		4	13人	
学期制度		4月1日~9月30 10月1日~3月3			•	成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方法 前後期試験結果及び出		平常点等総合言	平価	
長期休み	■夏 ■冬	始め: 4月11日 季: 7月21日~8 季: 12月21日~ 末: 3月21日				卒業·進級 条件	前後期総合評価結果及	.ぴ2.	/3以上の出席	<b>*</b>	
学修支援等											
	■主た言	计磁生 娄男笙/亚	et and	生			■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等				
	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 音楽・エンタテインメント業界 ■就職背海内容・企業研修。就活対策講座/業界企業合同説明会・CATチャレンジシステム/公開オーディション ■卒業者数 50 人 ■就職希望者数 6 人 ■就職者数 2 人					■ 国本 (中成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)					
						-	資格·検定名	種	受験者数	合格者数	
							MIDI検定	3	5 人	0人	
					人						
					Ţ.						
就職等の						主な学修成果					
状況※2		きに占める就職者の : 也	割合	10	%	·(資格·検定等) ※3 ·	※種別の欄には、各資格・検定 るか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了 ②国家資格・検定のうち、修了 ③その他(民間検定等)				
						■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					
	(平成	29 年度卒業 平成30年5月1日									
中途退学 の現状	平成30年 ■中途i ・経済的理	<b>退学者</b> ≅4月1日時点におい ≅3月31日時点におい <b>退学の主な理由</b>	<b>20</b> て、7	在学者125名(平成29年 在学者107名(平成30			平 16	%			
	■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談を定期的に実施個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。										
		虫自の奨学金・授	業料等	· 京減免制度: 有	ī						
経済的支援 制度	特待生制度  ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象  ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)										
当該学科の ホームページ URL	ホームへ	ページにおいて公開	剨(UR	L: http://www.cat.ac	.jp/suppo	ort/subject.html)					

(留意事項) 1. 公表年月日(※1) 最新の公表年月日で 1. 公安サ月ロ(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- 2. 就職等の状況(※2) 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

775㎡ 教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容につい ての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
井筒 稔晴	※日日はパートロネバック 勝ち	平成25年12月17日~平成30年3月31日(4年)	1
里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス	平成25年11月28日~平成30年3月31日(4年)	3
	フリー・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
森 久誌	株式会社 フォレスト	平成26年10月2日~平成30年3月31日(4年)	3
木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス	平成25年12月4日~平成30年3月31日(4年)	3
杉山 徹	ミュージシャン学科 学科長		学校責任者

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回の実施(9月、3月)

(開催日時)

第1回 平成29年10月4日 第2回 平成30年2月23日

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見・音源制作で初稿が通ることはまずない。昨今は完全パッケージに近いマスタリングされたものを提示しなければいけないことが多く、「そこまでの技術・知識」を植え付ける必要がある。「デモ」の意味が変化しており完成形が求められる。

活用状況:曲の発注数は増え、単価が下がる中、一人作業ではクオリティーを維持した対応をしきれません。そこで最近は3名程度で制作チームを組み、リクエストに対応するやり方が多い。「ソングライティング」や「コンポージング」といった楽曲制作の授業では、この手法を取り入れていくようにします。

### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

講師派遣における学内授業の実施 特別実習における専用施設を使用した実習の実施及び講師派遣 前後期試験の実施、作品/実習等における採点、出席率等総合評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。						
科目名	科目概要	連携企業等				
コーラス	ハモリやユニゾンなどを学び、グループによるコーラスレッスンを行います。また、アンサンブルとの連動によりステージングやアンサンブルカの向上を目指します。また、ステージ上でのルール、マナー、そして最小限の音響・照明・進行に至るまでの知識を理解。 ミュージシャン、アーティストとしてのステージの在り方について学びます。	有限会社ヘッドライン				
	·	<u> </u>				

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要 な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、キャットミュージックカレッジ専門学校、講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。 その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

### (2)研修等の実績

# ①専攻分野における実務に関する研修等

2017年5月5日Bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年5月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年6月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Methotatan Treatfer」
2018年1月23日日前board Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Color Osma Color OSM2 The Color Osma Co

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2018年3月29日 株式会社ベネッセiキャリアよ 内容: 学生とのコミュニケーションスキル研修会

### (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

2019年11月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年12月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年1月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導数(2018)

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2019年3月26日 株式会社ペネッセキャリアより講師派遣 教員70名参加 P容:コーチングスキル教員研修会スキル研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ と。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

、ログデススのが、日の下値が全ペインコット 学校関係者等価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そ して、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「車修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)・寺修子校には300名子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	※該当なし

# ※(10)及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

-			1 1%00-	<u> </u>
I	名 前	所 属	任期	種別
	三原 淑治		平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員
I	永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	校長等
I	髙橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	卒業生
	瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/information/public)・平成30年10月末

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

### (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

、ローボーマン・ディストのドロ・トッティの目れいたけい。金本ファリ 本校の理念でもある、"業界にとって信頼できる人材育成機関であると"を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべき である。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	27 023 11 2 12 102-X II CO27/1/II
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協働特別授業、企業の声
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(3	と化	• 教	核専門課程	ミュージシャン学科 ソロボーカル専攻)平原	<b>或</b> 3	0年	度								
	分類	į						授	業方		場	所	教	員	
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		企業等との連携
0			音楽業界概論	音楽業界に関する成り立ちや組織などを学習していきます。また、著作権やソーシャルメディアへの対応など現代の音楽ビジネスに関する内容をあわせて学んでいきます。	1・2年通年	128	8	0			0		0		
0			音楽史	ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成り立ち や、ジャンルの派生、アーティストに関する知識等を学習 します。	1・2年通年	128	8	0			0			0	
0			音楽理論	基礎音楽理論と音楽ジャンルや各種楽器への理解を深めます。譜面の読み方・書き方、基礎理論を学習することにより、読譜力や和音や旋律の基礎知識を学習します。	1・2年通年	64	4	0			0		0		
0			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話応対、 名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書 き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学習 します。	1・2年通年	64	4	0			0			0	
	0		ボーカル実技	歌唱技術を基礎から総合的に習得する授業です。正確な音 程感やリズム感を身につける事はもちろん、様々な音楽ス タイルやニーズに対応できる歌唱表現の技術を習得してい きます。	1・2年通年	384	12			0	0			0	
	0		ソルフェーシ゛ュ	感覚的な演奏ができるようになることを目的とし、音感、 リズム感等のボーカリストとして必要な能力を身に付けて いくものです。演奏を行う上での表現力の向上を目指しま す。	1・2年通年	384	12			0	0			0	
	0		<b>ボイストレーニング</b>	歌唱に必要な発声法を理論と身体運動に基づいて学んでいきます。ボディーストレッチやブレスコントロールといったトレーニングをマスターします。	1・2年通年	128	8		0		0			0	
	0		リーディング セ゛ミ	オーディションやステージ出演に向け、歌唱スタイルの完成に向けた演習授業です。学習者の音楽スタイルにおける表現力を高め、個々のオリジナリティーの確立を目指し歌唱力を高めていきます。	2	64	4		0		0			0	
	0		ሃ <b>ン</b> ሳ <sup>*</sup>	コード進行の基本からメロディーラインの構築といったオリジナル曲の作曲に対する様々なアプローチの方法を学びます。また、アーティストに必要な音源制作知識及びCD制作のプロセスを、分り易く学ぶ為の授業です。	1・2年通年	64	4		0		0			0	
	0		コーラス	ハモリやユニゾンなどを学び、グループによるコーラスレッスンを行います。また、アンサンブルとの連動によりステージングやアンサンブルカの向上を目指します。また、ステージ上でのルール、マナー、そして最小限の音響・照明・進行に至るまでの知識を理解、。ミュージシャン、アーティストとしてのステージの在り方について学びます。	1 • 2 年 通 年	64	2			0	0			0	0
	0		ト゚ラム、ベース、パーカッション、シン セ、ピアノ)初級、上級アンサン プル、作曲論、ワープロ講座、パソコン講座、英会話	選択必修のうち、2科目を個人の方向性に合わせて選択して受講します。専門分野以外の授業も開講しており、音楽業界の内容を幅広く学ぶことを目的として実施しています。	1・2年通年	256	8			0	0			0	
		í	合計	1 2 科目		1	7 :	2 8	単位	時間	引(		7	4単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。	1 学年の学期区分   2 期
なお、各科目の試験等の内容については、各学科長及び担任と授業坦務者が打ち合わせの上決定する。	1学期の授業期間 16週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

学校名		設置認可年月	日 校長名	所在地				
キャットミュージッ ジ専門学村		昭和63年3月30	日 井原 延治	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-1101				
設置者名	i	設立認可年月	日 代表者名			所在地		
学校法人大阪創	都学園	昭和63年3月30	日 鈴木 雅文	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-1101				
分野	=3 pri	定課程名	認知	定学科名		専門士		<b>高度専門士</b>
文化・教養	文化•	教養専門課程	ミュージシャン学	科バンドボ・	ーカル専攻	平成17年文部科学省 告示第176号	î	-
学科の目的							らとする。	
認定年月日		年 3月31日 全課程の修了に必要な	-# w		V-177	ch 339	<b>DEA</b>	
修業年限	昼夜	総授業時数又は総単位 数	講義		演習	実習	実験 	実技
2 年	昼間	1728	384		384	960	0	0 単位時間
生徒総定	<u> </u>	生徒実員	留学生数(生徒実員の	)内 ]	専任教員数	兼任教員数		総教員数
200人		105人	1人		10人	33人		43人
学期制度		4月1日~9月30 10月1日~3月3			成績評価	<ul><li>■成績表:</li><li>■成績評価の基準・方法</li><li>前後期試験結果及び出</li></ul>		合評価
長期休み	■夏 ■冬	始め: 4月11日 季: 7月21日~ 季: 12月21日~ 末: 3月21日			卒業·進級 条件	前後期総合評価結果及	び2/3以上の5	出席
学修支援等	■個別相	担任制: 相談・指導等の対 度訪問及び保護			■課外活動の種類 なし 課外活動			
就職等の 状況※2	音楽·エ ■就職研 ·CATチ ■ 就職報 ■ 就職報	ャレンジシステム/	界 E/業界企業合同説明会 公開オーディション 50 6 2 33.33 割合 10 0人	人 人 人 %	主な学修成果 (資格·検定等) ※3	■サークル活動: ■国家資格・検定/その (平成29年度) 資格・検定名  MIDI検定  ※種別の欄には、各資格・検定 か記載する。 (国家資格・検定のうち、修了。 ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業:	卒業者に関する平成3 種 受験者数 ③ 9 人	1人 -(③のいずれかに該当す のの 持するもの
中途退学 の現状								
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載							
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)							
当該学科の ホームページ URL	ホーム^	ページにおいて公	剧(URL: http://www.cat	.ac.jp/supp	ort/subject.html)			
(空音車項)	_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·	· ·	·	·	·	

# (留意事項) 1. 公表年月日(※1) 最新の公表年月日で

1. 公安サ月ロ(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- 2. 就職等の状況(※2) 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

775㎡ 教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容につい ての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

	名 前	所 属	任期	種別
	井筒 稔晴	然は日本バー「日本バックリカム	平成25年12月17日~平成30年3月31日(4年)	1
	里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス	平成25年11月28日~平成30年3月31日(4年)	3
ı	稗田 奨	フリー・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
	井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	(3)
	森 久誌	株式会社 フォレスト	平成26年10月2日~平成30年3月31日(3年)	3
	木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス	平成25年12月4日~平成30年3月31日(4年)	(3)
ĺ	杉山 徹	ミュージシャン学科 学科長		学校責任者

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回の実施(9月、3月)

(開催日時)

第1回 平成29年10月4日 第2回 平成30年2月23日

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見・音源制作で初稿が通ることはまずない。昨今は完全パッケージに近いマスタリングされたものを提示しなければいけないことが多く、「そこまでの技術・知識」を植え付ける必要がある。「デモ」の意味が変化しており完成形が求められる。

活用状況:曲の発注数は増え、単価が下がる中、一人作業ではクオリティーを維持した対応をしきれません。そこで最近は3名程度で制作チームを組み、リクエストに対応するやり方が多い。「ソングライティング」や「コンポージング」といった楽曲制作の授業では、この手法を取り入れていくようにします。

### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

(3)具体的な連携の例	※科目数については代表的な5科目について記載。	
科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
アンサンブル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。また、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に至るまでの知識を理解していきます。	有限会社ヘッドライン
1		

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要 な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、キャットミュージックカレッジ専門学校、講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。 その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

### (2)研修等の実績

# ①専攻分野における実務に関する研修等

2017年5月5日Bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年5月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年6月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Methotatan Treatfer」
2018年1月23日日前board Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Color Osma Color OSM2 The Color Osma Co

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2018年3月29日 株式会社ベネッセiキャリアよ 内容: 学生とのコミュニケーションスキル研修会

### (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

2019年11月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年12月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年1月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導数(2018)

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2019年3月26日 株式会社ペネッセキャリアより講師派遣 教員70名参加 P容:コーチングスキル教員研修会スキル研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ と。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

、ログデススのが、日の下値が全ペインコット 学校関係者等価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そ して、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「車修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)・寺修子校には300名子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	※該当なし

# ※(10)及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

-			1 1%00-	<u> </u>
I	名 前	所 属	任期	種別
	三原 淑治		平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員
I	永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	校長等
I	髙橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	卒業生
	瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/information/public)・平成30年10月末

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

### (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

、ローボーマン・ディストのドロ・トッティの目れいたけい。金本ファリ 本校の理念でもある、"業界にとって信頼できる人材育成機関であると"を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべき である。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	27 023 11 2 12 102-X II CO27/1/II
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協働特別授業、企業の声
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

()	(文化・教養専門課程 ミュージシャン学科 バンドボーカル専攻) 平成30年度														
	分類	į						授	業方	法	場	所	教	員	
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		企業等との連携
0			音楽業界概論	音楽業界に関する成り立ちや組織などを学習していきます。また、著作権やソーシャルメディアへの対応など現代の音楽ビジネスに関する内容をあわせて学んでいきます。		128	8	0			0		0		
0			音楽史	ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成り立ち や、ジャンルの派生、アーティストに関する知識等を学習 します。	1 ・ 2 年 通 年	128	8	0			0			0	
0			音楽理論	基礎音楽理論と音楽ジャンルや各種楽器への理解を深めます。譜面の読み方・書き方、基礎理論を学習することにより、読譜力や和音や旋律の基礎知識を学習します。		64	4	0			0		0		
0			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話応対、 名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書 き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学習 します。	1 • 2 年 通 年	64	4	0			0			0	
	0		ボーカル実技	歌唱技術を基礎から総合的に習得する授業です。正確な音程感やリズム感を身につける事はもちろん、様々な音楽スタイルやニーズに対応できる歌唱表現の技術を習得していきます。	1・2年通年	384	12			0	0			0	
	0		ギター実技	ギターボーカルにおいて必要となるギターテクニックを身につけます。コードの理解やフィンガリング、ピッキングなど基礎的なことから学んでいきます。		384	12			0	0			0	
	0		<b>ボイストレーニング</b>	歌唱に必要な発声法を理論と身体運動に基づいて学んでいきます。ボディーストレッチやブレスコントロールといったトレーニングをマスターします。	1・2年通年	128	8		0		0			0	
	0		リーディング・セ・ミ	オーディションやステージ出演に向け、歌唱スタイルの完成に向けた演習授業です。学習者の音楽スタイルにおける表現力を高め、個々のオリジナリティーの確立を目指し歌唱力を高めていきます。	2	64	4		0		0			0	
	0		ソンク゛ライティンク゛	コード進行の基本からメロディーラインの構築といったオリジナル曲の作曲に対する様々なアプローチの方法を学びます。また、アーティストに必要な音源制作知識及びCD制作のプロセスを、分り易く学ぶ為の授業です。	_	64	4		0		0			0	
	0		アンサンフ゛ル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、 ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。ま た、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に 至るまでの知識を理解していきます。		64	2			0	0			0	0
	0		ト゛ラム、ベース、パーカッション、シン	業界の内容を幅広く字ふことを目的として実施しています。 す。	年 通 年	256	8			0	0			0	
		1	合計	1 2 科目			1 7	2 8	3 単1	立時	間(		7	4単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。	1 学年の学期区分 2 期
なお、各科目の試験等の内容については、各学科長及び担任と授業坦務者が打ち合わせの上決定する。	1 学期の授業期間   1 6 週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

学校名         設置認可年月日         校長名         所在地           キャットミュージックカレッショ門学校         財産者名         財産額分の6-6369-1101         サライン・大阪府吹田市乗水町3-29-18 (電話) 06-6369-1101         所在地           学校法人大阪創都学園         昭和63年3月30日         鈴木 雅文         大阪府吹田市乗水町3-29-18 (電話) 06-6369-1101         所在地           分野         認定課程名         認定学科名         東門士         マ成17年文部科学省告示第176号           文化・教養         文化・教養専門課程         ミュージシャン学科シンガーソングライター専攻告示第176号         学科の目的教育基本法、及び学校教育法に基づき音楽表現及び楽曲制作に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目認定年月日平成26年3月31日を課題の修訂に参考を認定年月日平成26年3月31日         実際日の修訂に参考を認定年時の保証を表現を関するとは、表現を実施を表現を表現を表現を表現を必要を表現を必要を表現を必要を表現を必要を表現を必要を表現を必要を表現を必要を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	高度専門士							
おいます	高度専門士							
設置者名   設立認可年月日   代表者名   所在地   デ564-0062   大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-1101   安化・教養・専門課程   ミュージシャン学科シンガーソングライター専攻   平成17年文部科学省   告示第176号   学科の目的   教育基本法、及び学校教育法に基づき音楽表現及び楽曲制作に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目認定年月日   平成26年 3月31日   修業年限   昼夜   全課程の序列に必要な   講義   演習   実習   実験   実際   工728   384   384   960   0   生徒総定員   生徒実員   留学生数(生世来員の内 専任教員数   東任教員数   105人   1人   10人   33人   33人	高度専門士							
学校法人大阪創都学園         昭和63年3月30日         鈴木 雅文         大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-1101           分野         認定課程名         認定学科名         専門士           文化・教養         文化・教養専門課程         ミュージシャン学科シンガーソングライター専攻         平成17年文部科学省告示第176号           学科の目的         教育基本法、及び学校教育法に基づき音楽表現及び楽曲制作に関レ必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目認定年月日         平成26年3月31日           修業年限         昼夜         全課程の修丁に急寒な粉無無数又は影響的なは影響を放けまります。 教授無無数又は影響位 教養         講義         演習         実習         実験           2         昼間         1728         384         384         960         0           生徒実員         生徒実員         留学生数(生徒実員の内)         事任教員数         兼任教員数           200人         105人         1人         10人         33人	高度専門士							
分野   認定課程名   認定学科名   専門士   マル・教養・専門課程   ミュージシャン学科シンガーソングライター専攻   平成17年文部科学省   告示第176号   学科の目的   教育基本法、及び学校教育法に基づき音楽表現及び楽曲制作に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目認定年月日   平成26年 3月31日   修業年限   昼夜   全課程の修了に必要な   講義   演習   実習   実験   変   実験   2   昼間   1728   384   384   960   0   生徒総定員   生徒実員   留学生数(生食業員の内   専任教員数   兼任教員数   東任教員数   200人   105人   1人   10人   33人	高度専門士							
分野         認定課程名         認定学科名         専門士           文化・教養専門課程         ミュージシャン学科シンガーソングライター専攻         平成17年文部科学省告示第176号           学科の目的         教育基本法、及び学校教育法に基づき音楽表現及び楽曲制作に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目認定年月日         平成26年3月31日           修業年限         昼夜         全課日の修了に必要な契けません。           接て限         昼夜         製程実験教工は総単位表の表現の表現では、           2         昼間         1728         384         384         960         0           生徒実員         生徒実員         留学生数(生養業員の内)事任教員数         兼任教員数         兼任教員数           200人         105人         1人         10人         33人	高度専門士							
文化・教養     又化・教養専門課程     ミューシンヤン子科シンカーランクライター専収     告示第176号       学科の目的     教育基本法、及び学校教育法に基づき音楽表現及び楽曲制作に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目認定年月日     平成26年 3月31日       修業年限     昼夜     金額費の序列に必要な 総規案制教工は影単位 講義 演習 実習 実験       2     昼間     1728     384     384     960     0       生徒総定員     生徒実員     留学生数(生徒実員の内)     専任教員数     兼任教員数       200人     105人     1人     10人     33人	_							
認定年月日         平成26年         3月31日           修業年限         昼夜         全課程の修了に必要な 総裁案特数又は認単位 総裁案特数又は認単位 2         講義         演習         実習         実験           2         昼間         1728         384         384         960         0           生徒総定員         生徒実員         留学生数(生徒実員の内         専任教員数         兼任教員数           200人         105人         1人         10人         33人								
修業年限     昼夜     全課題の修了に必要な 総授業等数別は総単位 数     講義     演習     実習     実験       2     年日     日間     1728     384     384     960     0       生徒総定員     生徒実員     留学生数(生徒来員の内     事任教員数     兼任教員数       200人     105人     1人     10人     33人	目的とする。							
修業年限     昼夜     総授業特徴又は総単位 教 教     講義     演習     実習     実験       2     年     昼間     1728     384     384     960     0       生徒総定員     生徒実員     留学生数(生徒実員の内     専任教員数     兼任教員数       200人     105人     1人     10人     33人								
(年) (年) (年) (年) (年) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日	実技							
200人 105人 1人 10人 33人	単位時間							
	総教員数							
	43人							
学期制度 ■前期 4月1日~9月30日 ■成績表: 有 ■成績評価 ■成績評価 ■成績評価 ■成績評価 ■成績評価 ■ 成績評価 ■ 成績書 の基準・方法 前後期試験結果及び出席・平常点等績	総合評価							
■学年始め: 4月11日 ■夏 季: 7月21日~8月31日 ■冬 季: 12月21日~1月9日 ■学年末: 3月21日	D出席							
■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有 課外活動 課外活動								
■サークル活動: 無 ■マークル活動: 無 ■ 国際を対してのは、ままない。								
■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 音楽・エンタテインメント業界								
■就職指導内容 ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 資格·檢定名 種 受験者								
・CATチャレンジシステム/公開オーディション MIDI検定 ③ 9人	. 1人							
■ 本業者数     50     人       ■ 就職希望者数     6     人	-							
■ 計勝 老粉								
就職等の ■就職率 : 33.33 % ( 注水: 大きの ( 注								
17/2003年 単	※性別の傾には、台具作・侯定について、以下の①~②のかりすれかに映画するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの							
■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入:	賞状況等							
(平成 29 年度卒業者に関する								
平成30年5月1日 時点の情報)  ■中途退学者 20 名 ■中退率 16 %  平成29年4月1日時点において、在学者125名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者107名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由								
・ 中途退学 の現状 ・ 経済的理由 ・ 別途進路へ進む為								
個人面談を定期的に実施、個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を	持たせる。							
■学校独自の奨学金・授業料等滅免制度: 有 特待生制度								
経済的支援 制度 制度 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載								
第三者による 学校評価 単民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)								
当該学科の ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/support/subject.html) URL								

(留意事項)
1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- 2. 就職等の状況(※2) 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

775㎡ 教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容につい ての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

			1 - 7 7 - 1 70 1
名 前	所 属	任期	種別
井筒 稔晴	一般社団法人日本音楽スタジオ協会	平成25年12月17日~平成30年3月31日(4年)	1
里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス	平成25年11月28日~平成30年3月31日(4年)	3
稗田 奨	フリー・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
森 久誌	株式会社 フォレスト	平成26年10月2日~平成30年3月31日(4年)	3
木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス	平成25年12月4日~平成30年3月31日(4年)	(3)
杉山 徹	ミュージシャン学科 学科長		学校責任者

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回の実施(9月、3月)

(開催日時)

第1回 平成29年10月4日 第2回 平成30年2月23日

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見・音源制作で初稿が通ることはまずない。昨今は完全パッケージに近いマスタリングされたものを提示しなければいけないことが多く、「そこまでの技術・知識」を植え付ける必要がある。「デモ」の意味が変化しており完成形が求められる。

活用状況:曲の発注数は増え、単価が下がる中、一人作業ではクオリティーを維持した対応をしきれません。そこで最近は3名程度で制作チームを組み、リクエストに対応するやり方が多い。「ソングライティング」や「コンポージング」といった楽曲制作の授業では、この手法を取り入れていくようにします。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

・講師派遣における学内授業の実施 ・特別実習における専用施設を使用した実習の実施及び講師派遣 ・前後期試験の実施、作品/実習等における採点、出席率等総合評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。										
科 目 名	科 目 概 要	連携企業等								
アンサンブル	アンサンブルを通じて、パンドサウンドにおけるリズム、ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。また、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に至るまでの知識を理解していきます。	有限会社ヘッドライン								
		~~~~								

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要 な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、キャットミュージックカレッジ専門学校、講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。 その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

### (2)研修等の実績

# ①専攻分野における実務に関する研修等

2017年5月5日Bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年5月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年6月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Methotatan Treatfer」
2018年1月23日日前board Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Color Osma Color OSM2 The Color Osma Co

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2018年3月29日 株式会社ベネッセiキャリアよ 内容: 学生とのコミュニケーションスキル研修会

### (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

2019年11月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年12月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年1月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導数(2018)

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2019年3月26日 株式会社ペネッセキャリアより講師派遣 教員70名参加 P容:コーチングスキル教員研修会スキル研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ と。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

、ログデススのが、日の下値が全ペインコット 学校関係者等価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そ して、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「車修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)・寺修子校には300名子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	※該当なし

# ※(10)及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

-			1 1%00-	<u> </u>
I	名 前	所 属	任期	種別
	三原 淑治		平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員
I	永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	校長等
I	髙橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	卒業生
	瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/information/public)・平成30年10月末

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

### (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

、ローボーマン・ディストのドロ・トッティの目れいたけい。金本ファリ 本校の理念でもある、"業界にとって信頼できる人材育成機関であると"を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべき である。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	27 023 11 2 12 102-X II CO27/1/II
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協働特別授業、企業の声
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(文化・教養専門課程 ミュージシャン学科 シンガーソングライター専攻) 平成30年度															
	分類	Į						授	業方		場	所	教	員	
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		企業等との連携
0			音楽業界概論	音楽業界に関する成り立ちや組織などを学習していきます。また、著作権やソーシャルメディアへの対応など現代の音楽ビジネスに関する内容をあわせて学んでいきます。	1・2年通年	128	8	0			0		0		
0			音楽史	ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成り立ち や、ジャンルの派生、アーティストに関する知識等を学習 します。	1・2年通年	128	8	0			0			0	
0			音楽理論	基礎音楽理論と音楽ジャンルや各種楽器への理解を深めます。譜面の読み方・書き方、基礎理論を学習することにより、読譜力や和音や旋律の基礎知識を学習します。	1・2年通年	64	4	0			0		0		
0			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話応対、 名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書 き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学習 します。	1・2年通年	64	4	0			0			0	
	0		ボーカル実技	歌唱技術を基礎から総合的に習得する授業です。正確な音程感やリズム感を身につける事はもちろん、様々な音楽スタイルやニーズに対応できる歌唱表現の技術を習得していきます。	1・2年通年	384	12			0	0			0	
	0		DTM講座	作詞の授業と連動し、楽曲制作におけるコンピュータの活用方法などを学習します。実際に一人1台のコンピュータを使用してDAWによる作曲をするところから始め、オリジナル楽曲制作にも取り組んでいきます。	1・2年通年	256	8			0	0			0	
	0		<b>ボイストレ−ニング</b>	歌唱に必要な発声法を理論と身体運動に基づいて学んでいきます。ボディーストレッチやブレスコントロールといったトレーニングをマスターします。	1・2年通年	128	8		0		0			0	
	0		コンピ゚ュータ作曲	コード進行の基本からメロディーラインの構築といったオリジナル曲の作曲に対する様々なアプローチの方法を学びます。また、アーティストに必要な音源制作知識及びCD制作のプロセスを、分り易く学ぶ為の授業です。		128	4			0	0			0	
	0		作詞	DTM講座やコンピュータ作曲の授業と連動し、メロディーに対して歌詞を付けたり、歌詞に他の授業で曲を付けたりしながら進めていきます。作詞に必要な世界観の出し方などを表現方法として学んでいきます。	1・2年通年	128	8		0		0			0	
	0		アンサンフ゛ル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、 ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。ま た、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に 至るまでの知識を理解していきます。	1 • 2 年 通 年	64	2			0	0			0	0
	0		ドラム、ベース、バーカッション、シンセ、ピアノ)初級、上級アンサン ブル、作曲論、ワープロ講座、パソコン講座、英会話	選択必修のうち、2科目を個人の方向性に合わせて選択して受講します。専門分野以外の授業も開講しており、音楽業界の内容を幅広く学ぶことを目的として実施しています。	1・2年通年	256	8			0	0			0	
		1	合計	1 2 科目		1	7 :	2 8	単位	時間	引(		7	4単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。	1 学年の学期区分   2 期
なお、各科目の試験等の内容については、各学科長及び担任と授業坦務者が打ち合わせの上決定する。	1学期の授業期間   16週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

<b>学拉</b> 夕		- 小学物可在 -		拉巨夕			<b>武大山</b>				
学校名 キャットミュージッ	ージックカレッ 〒564-0062										
ジ専門学校	- フックカレッ   四和c2年2月20日   井原 延治   上町 京場   土町 京場   土地   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大阪   大										
設置者名		設立認可年月	日	代表者名	所在地						
学校法人大阪創	那学周	昭和63年3月30	ηТ	鈴木 雅文	〒564-		0_10				
			1		入阪村	次田市垂水町3-2 (電話)06-6369	9-18 9-1101				
分野	=3 p/	定課程名		認定学	料名		専門士	ds	高原	ま 専門士	
文化·教養	文化・	教養専門課程		ミュージシャン学	△科ギター	-専攻	平成17年文部科学: 告示第176号	省		-	
							D4/3/1/0/3				
学科の目的	教育基本	法、及び学校教育	法に基	づき音楽表現及び楽曲	制作に関	し必要とされる技能	能を養成し、又は教育の向	上を図	図ることを目的と	:する。	
認定年月日	平成26年	₹ 3月31日				1	1				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数		講義		演習	実習		実験	実技	
2	昼間	1728		384		384	960		0	0	
生徒総定		生徒実員		留学生数(生徒実員の内	1	<b>厚任教員数</b>	兼任教員数		<b>松</b>	単位時間 <b>教員数</b>	
200人	~	105人		1人		10人	33人			<del>50.000</del> 43人	
2007(		, , , ,	l.	.,,		1 1 1	■成績表:	有			
学期制度		4月1日~9月30 10月1日~3月3				成績評価	■成績評価の基準・方 前後期試験結果及び出	法	平常点等総合	評価	
長期休み	■夏 ■冬	台め: 4月11日 季: 7月21日〜8 季: 12月21日〜 末: 3月21日				卒業·進級 条件	前後期総合評価結果及	及び2	/3以上の出り	芾	
学修支援等	■個別村	担任制: 目談・指導等の対 庭訪問及び保護 <sup>3</sup>		情報共有		課外活動	■課外活動の種類 なし		_		
	■主たき	t 融失 業 男 生 / 亚	成20名	F			■サークル活動: ■国家資格・検定/その	D.4H.	無		
	<ul><li>■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 音楽・エンタテインメント業界</li><li>■就職指導内容</li><li>・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会</li></ul>									F5月1日時点の情報)	
							資格·検定名	種	受験者数	合格者数	
						<u>.                                    </u>	MIDI検定	3	9人	1人	
					人						
					<u> </u>						
就職等の						主な学修成果	<u> </u>				
状況※2						·(資格·検定等) ※3 ·	※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 「国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)				
						■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					
	(平成	28 年度卒業 平成29年5月1日									
中途退学 の現状	平成30年 ■中途i ・経済的理	<b>退学者</b> €4月1日時点におい €3月31日時点におい <b>退学の主な理由</b>	<b>20</b> て、花	在学者125名(平成29年 在学者107名(平成30			率 16	%			
	・別述連絡へ連む点  ■中退防止・中退者支援のための取組  個人面談を定期的に実施。個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。										
		虫自の奨学金・授	業料等	減免制度: 有					<u>-</u>		
経済的支援 制度		<b>実践教育訓練給付</b>		非給付対象 績者数について任意記載							
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)										
当該学科の ホームページ URL	ホーム~	ページにおいて公[	開(UR	L: http://www.cat.ac	jp/suppo	ort/subject.html)					

(留意事項) 1. 公表年月日(※1) 最新の公表年月日で 1. 公安サ月ロ(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- 2. 就職等の状況(※2) 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

775㎡ 教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容につい ての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

亚成30年3日31日租在

			1 /2000	1 0 / 1 0 . [ ] 5 [
l	名 前	所 属	任期	種別
l	井筒 稔晴	次は日本ハー・日本バックの加工	平成25年12月17日~平成30年3月31日(4年)	1
ı	里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス	平成25年11月28日~平成30年3月31日(4年)	3
ı	稗田 奨	フリー・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
l	井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
ı	森 久誌	株式会社 フォレスト	平成26年10月2日~平成30年3月31日(4年)	3
l	木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス	平成25年12月4日~平成30年3月31日(4年)	3
ı	杉山 徹	ミュージシャン学科 学科長		学校責任者

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回の実施(9月、3月)

(開催日時)

第1回 平成29年10月4日 第2回 平成30年2月23日

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見・音源制作で初稿が通ることはまずない。昨今は完全パッケージに近いマスタリングされたものを提示しなければいけないことが多く、「そこまでの技術・知識」を植え付ける必要がある。「デモ」の意味が変化しており完成形が求められる。

活用状況:曲の発注数は増え、単価が下がる中、一人作業ではクオリティーを維持した対応をしきれません。そこで最近は3名程度で制作チームを組み、リクエストに対応するやり方が多い。「ソングライティング」や「コンポージング」といった楽曲制作の授業では、この手法を取り入れていくようにします。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

・講師派遣における学内授業の実施 ・特別実習における専用施設を使用した実習の実施及び講師派遣 ・前後期試験の実施、作品/実習等における採点、出席率等総合評価を行う。

(3)具体的な連携の例※	(科目数については代表的な5科目について記載。	
科目名	科 目 概 要	連携企業等
アンサンブル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。また、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に至るまでの知識を理解していきます。	有限会社ヘッドライン

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要 な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、キャットミュージックカレッジ専門学校、講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。 その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

### (2)研修等の実績

# ①専攻分野における実務に関する研修等

2017年5月5日Bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年5月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年6月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Methotatan Treatfer」
2018年1月23日日前board Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Color Osma Color OSM2 The Color Osma Co

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2018年3月29日 株式会社ベネッセiキャリアよ 内容: 学生とのコミュニケーションスキル研修会

### (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

2019年11月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年12月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年1月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導数(2018)

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2019年3月26日 株式会社ペネッセキャリアより講師派遣 教員70名参加 P容:コーチングスキル教員研修会スキル研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ と。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

、ログデススのが、日の下値が全ペインコット 学校関係者等価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そ して、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「車修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)・寺修子校には300名子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	※該当なし

# ※(10)及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

			1 1%00-	<u> </u>
I	名 前	所 属	任期	種別
	三原 淑治		平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員
I	永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	校長等
I	髙橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	卒業生
	瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/information/public)・平成30年10月末

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

### (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

、ローボーマン・ディストのドロ・トッティの目れいたけい。金本ファリ 本校の理念でもある、"業界にとって信頼できる人材育成機関であると"を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべき である。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	27 023 11 2 12 102-X II CO27/1/II
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協働特別授業、企業の声
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

	(文化・教養専門課程ミュージシャン学科 ギター専攻) 平成30年度														
分類				T_I.					業方		場所		教	員	
必修	必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内		専任		企業等との連携
0			音楽業界概論	音楽業界に関する成り立ちや組織などを学習していきます。また、著作権やソーシャルメディアへの対応など現 代の音楽ビジネスに関する内容をあわせて学んでいきます。	2	128	8	0			0		0		
0			音楽史	ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成り立ち や、ジャンルの派生、アーティストに関する知識等を学 習します。	1 ・ 2 年 通 年	128	8	0			0			0	
0			音楽理論	基礎音楽理論と音楽ジャンルや各種楽器への理解を深めます。譜面の読み方・書き方、基礎理論を学習することにより、読譜力や和音や旋律の基礎知識を学習します。	1 • 2 年通年	64	4	0			0		0		
0			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話応対、名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学習します。		64	4	0			0			0	
	0		ギター実技	ギターの奏法を総合的に習得する授業です。また、ジャンルや音楽スタイルへのアプローチの方法を、ギターの特性にあわせた音楽理論を絡めてスケール、コード知識といった側面を含めた演奏技術として学習します。		984	12			0	0			0	
	0		キ゛ター テクニック	楽器や機材についての実践的ノウハウなど、さまざまな テーマで講師の持つ個性的な音楽背景をもとに行なわれ る授業です。		256	8			0	0			0	
	0		キ゛ター フレーシ゛ンク゛	アーティスト、ギタリストの代表的な演奏から音楽的な アプローチを学習し、プレイヤーとしての音楽的ボキャ ブラリーを学習者自身の中に構築して行く事を目的とし た授業です		128	8		0		0			0	
	0		キ゛ター リーテ゛ィンク゛	譜面を読む授業です。ギター指板上の音名理解。手のフォーム、確かな運指、ピッキング、リズム感、音符の長さなどを身につけていきます。		128	8		0		0			0	
	0		REC&コンホ゜ース゛	アーティストに必要な音源制作知識及びCD制作のプロセスを、分り易く学ぶ為の講義授業です。DAWを中心とした録音機器のシステムや制作に関する知識を身に付けることが目的です。		128	4		0		0			0	
	0		アンサンブ゛ル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。また、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に至るまでの知識を理解していきます。	2	64	2			0	0			0	0
	0		ドラム、ベース、バーカッション、シン セ、ビアノ)初級、上級アンサン ブル、作曲論、ワーブロ講 座、バソコン講座、英会話	首架業界の内谷を幅広く字かことを目的として実施して	2	256	8			0	0			0	
		1	合計	1 2 科目		1	7 2	2 8 <u>i</u>	単位	時間	](	7	7 4	単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等			
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。	1 学年の学期区分 2 期			
なお、各科目の試験等の内容については、各学科長及び担任と授業坦務者が打ち合わせの上決定する。	1学期の授業期間 16週			

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

学校名		- 小学物学左口		拉巨力			こ た 山					
学校名 キャットミュージッ	クカレベ	設置認可年月		校長名	〒564-	-0062	所在地					
ジ専門学権	交	昭和63年3月30		井原 延治	大阪府	吹田市垂水町3-2 (電話)06-6369						
設置者名		設立認可年月	日	代表者名	====	0062	所在地					
学校法人大阪創		昭和63年3月30	日	鈴木 雅文	〒564- 大阪府	-0062 吹田市垂水町3-2 (電話)06-6369	3–29–18 369–1101					
分野	=3 p.0	定課程名		認定学	科名		専門士		高度	[専門士		
文化・教養	文化·	教養専門課程		ミュージシャン学	△科ベース	ス専攻	平成17年文部科学省 告示第176号	î		-		
学科の目的			法に基	づき音楽表現及び楽曲	制作に関	し必要とされる技能	・ 能を養成し、又は教育の向」	Lを図	図ることを目的と	する。		
認定年月日	平成26年	手 3月31日 全課程の修了に必要な										
修業年限	昼夜	総授業時数又は総単位 数		講義		演習	実習		実験	実技		
2 年	昼間	1728		384		384	960		0	0 単位時間		
生徒総定	į	生徒実員		留学生数(生徒実員の内	Į	厚任教員数	兼任教員数		総	教員数		
200人		105人		1人		10人	33人		4	13人		
学期制度		4月1日~9月30 10月1日~3月3			•	成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方法 前後期試験結果及び出		平常点等総合詞	評価		
長期休み	■夏 ■冬	台め: 4月11日 季: 7月21日~3 季: 12月21日~ 末: 3月21日				卒業·進級 条件	前後期総合評価結果及	<b>ぴ</b> 2.	/3以上の出席	<b>T</b>		
学修支援等	■個別村	担任制: 目談・指導等の対 庭訪問及び保護:		情報共有		課外活動	■課外活動の種類 なし					
		4 m + + + + + + + + + + + + + + + + + +		andre refer added to 1			■サークル活動: 無					
	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 音楽・エンタテインメント業界 ■就職指導内容 ・企業研修・就活対策講座/業界企業合同説明会						■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)					
							資格·検定名	種	受験者数	合格者数		
		「廖/ 肌 石 刈 東 禑座 ヤレンジシステム/					MIDI検定	3	10人	2人		
	■卒業者数 50 人											
	■就職希望者数 ■就職者数			6 2	<del>}</del>							
就職等の	■就職率 : 33.33 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 10 % ■その他 : 道学者数: 0人					- 主な学修成果 - (資格・検定等)						
状況※2					%	*3						
							■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					
	(平成	29 年度卒業										
	■中途词	平成30年5月1日 <b>艮学者</b>	時点の	情報)	名	■中退	<u> </u> 率 16 <sup>9</sup>	%				
中途退学 の現状	平成29年 平成30年 ■中途i ・経済的理	4月1日時点におい 3月31日時点にお <b>退学の主な理由</b>	いて、在	E学者125名(平成 在学者107名(平原	29年4月1	日入学者を含む)		,,,				
<b>4756</b> 00		方止・中退者支援( を定期的に実施,個別			毎月の出	席率管理を行い保護	者とも連絡を取り登校を促すこ	を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。				
		虫自の奨学金・授業	業料等	減免制度: 有	ī							
特待生制度  経済的支援 制度  ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載												
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無											
当該学科の ホームページ URL	i該学科の ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/support/subject.html)											

(留意事項)
1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- 2. 就職等の状況(※2) 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

775㎡ 教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容につい ての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

亚成30年3日31日租在

			1 /2000	1 0 / 1 0 . [ ] 5 [
l	名 前	所 属	任期	種別
l	井筒 稔晴	次は日本ハー・日本バックの加工	平成25年12月17日~平成30年3月31日(4年)	1
ı	里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス	平成25年11月28日~平成30年3月31日(4年)	3
ı	稗田 奨	フリー・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
l	井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
ı	森 久誌	株式会社 フォレスト	平成26年10月2日~平成30年3月31日(4年)	3
l	木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス	平成25年12月4日~平成30年3月31日(4年)	3
ı	杉山 徹	ミュージシャン学科 学科長		学校責任者

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回の実施(9月、3月)

(開催日時)

第1回 平成29年10月4日 第2回 平成30年2月23日

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見・音源制作で初稿が通ることはまずない。昨今は完全パッケージに近いマスタリングされたものを提示しなければいけないことが多く、「そこまでの技術・知識」を植え付ける必要がある。「デモ」の意味が変化しており完成形が求められる。

活用状況:曲の発注数は増え、単価が下がる中、一人作業ではクオリティーを維持した対応をしきれません。そこで最近は3名程度で制作チームを組み、リクエストに対応するやり方が多い。「ソングライティング」や「コンポージング」といった楽曲制作の授業では、この手法を取り入れていくようにします。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

・講師派遣における学内授業の実施 ・特別実習における専用施設を使用した実習の実施及び講師派遣 ・前後期試験の実施、作品/実習等における採点、出席率等総合評価を行う。

(3)具体的な連携の例※	(科目数については代表的な5科目について記載。	
科目名	科 目 概 要	連携企業等
アンサンブル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。また、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に至るまでの知識を理解していきます。	有限会社ヘッドライン

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要 な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、キャットミュージックカレッジ専門学校、講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。 その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

### (2)研修等の実績

# ①専攻分野における実務に関する研修等

2017年5月5日Bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年5月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年6月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Methotatan Treatfer」
2018年1月23日日前board Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Color Osma Color OSM2 The Color Osma Co

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2018年3月29日 株式会社ベネッセiキャリアよ 内容: 学生とのコミュニケーションスキル研修会

### (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

2019年11月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年12月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年1月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導数(2018)

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2019年3月26日 株式会社ペネッセキャリアより講師派遣 教員70名参加 P容:コーチングスキル教員研修会スキル研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ と。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

、ログデススのが、日の下値が全ペインコョー 学校関係者等価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そ して、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「車修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)・寺修子校には300名子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	※該当なし

# ※(10)及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

			1 1%00-	<u> </u>
I	名 前	所 属	任期	種別
	三原 淑治		平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員
I	永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	校長等
I	髙橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	卒業生
	瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/information/public)・平成30年10月末

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

### (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

、ローボーマン・ディストのドロ・トッティの目れいたけい。金本ファリ 本校の理念でもある、"業界にとって信頼できる人材育成機関であると"を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべき である。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	27 023 11 2 12 102-X II CO27/1/II
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協働特別授業、企業の声
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

			養専門課程ミ	ュージシャン学科 ベース専攻)平成30年	度								- H		
	分類	į į						授	業方		場	所	教	員	
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内		専任	兼任	企業等との連携
0			音楽業界概論	音楽業界に関する成り立ちや組織などを学習していきます。また、著作権やソーシャルメディアへの対応など現代の音楽ビジネスに関する内容をあわせて学んでいきます。	2	128	8	0			0		0		
0			音楽史	ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成 り立ちや、ジャンルの派生、アーティストに関す る知識等を学習します。	1・2年通年	128	8	0			0			0	
0			音楽理論	基礎音楽理論と音楽ジャンルや各種楽器への理解 を深めます。譜面の読み方・書き方、基礎理論を 学習することにより、読譜力や和音や旋律の基礎 知識を学習します。	1・2年通年	64	4	0			0		0		
0			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話応対、名刺交換の仕方などのビジネスマナーと 共に、履歴書の書き方や面接の受け方など就職活 動時に役立つスキルを学習します。	1・2年通年	64	4	0			0			0	
	0		ベースー実技	ベースの奏法を総合的に習得する授業です。また、ジャンルや音楽スタイルへのアプローチの方法を、音楽理論を絡めてスケール、コード知識といった側面を含めた演奏技術を効果的に学習します。	2 在	384	12			0	0			0	
	0		へ゛ース テクニック	楽器や機材についての実践的ノウハウなど、さまざまなテーマで講師の持つ個性的な音楽背景をもとに行なわれる授業です。	1 • 2 年通年	256	8			0	0			0	
	0		^゚ース フレージンク゚	アーティスト、ベースプレイヤーの代表的な演奏 から音楽的なアプローチを学習し、プレイヤーと しての音楽的ボキャブラリーを学習者自身の中に 構築して行く事を目的とした授業です	2 年 通 年	128	8		0		0			0	
	0		^゚ース リーディンク゚	譜面に表された音楽情報を読み取り、専門とする 楽器演奏へと繋げて行けることを目的としたトレーニング授業です。記号化された音楽情報を個 人の解釈を含めた楽器的な演奏表現が行なえる事 を目指します。	· 2 年	128	8		0		0			0	
	0		REC&コンホ゜ース゛	アーティストに必要な音源制作知識及びCD制作の プロセスを、分り易く学ぶ為の講義授業です。DAW を中心とした録音機器のシステムや制作に関する 知識を身に付けることが目的です。	_	128	4		0		0			0	
	0		アンサンフ゛ル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。また、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に至るまでの知識を理解していきます。	2 年	64	2			0	0			0	0
	0		ドラム、ペース、パーカッション、シンセ、ピアノ)初級、上級アンサンプル、作曲論、ワープロ講座、パソコン講座、英会話	講しており、音楽業界の内容を幅広く字ふことを 目的として実施しています。	年 通 年	256				0	0			0	
		1	合計	1 2 科目			1	7 2	<u>1</u> 8	単位	時間	(	7	8 単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。	1 学年の学期区分 2 期
なお、各科目の試験等の内容については、各学科長及び担任と授業坦務者が打ち合わせの上決定する。	1学期の授業期間 16调

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

中央	<b>学</b> 扶友		10. 景刻 17. 年 1		拉里夕			所在地							
### 発売	学校名	クカレル			校長名	〒564−	0062	<u> </u>							
安快法人大阪部部で開 間和838年3月30日			昭和63年3月30	日	井原 延治		欠田市垂水町3-2	9-18 9-1101							
	設置者名		設立認可年月	日	代表者名		(电品) 00 0000								
次元   次元   次元   次元   次元   次元   次元   次元	学校法人大阪創	都学周	昭和63年3月30	пΤ	鈴木 班文			0_10		-					
文化・教養   文化・教養 専門課程   ミュージャン・学科ドラム専収   平式、114 文部科学者   名示第179号   名称第179号   名称第179号				- 1		人級附	人田田華水町3-2 (電話)06-6369	9-10 9-1101							
	分野	記	定課程名		認定学	料名			da	高度	<b>专門士</b>				
整定年月日 〒成26年 3月31日   接換   実験   実験   実験   実験   実験   実験   実験   実	文化·教養	文化・	教養専門課程		ミュージシャン学	学科ドラム	專攻		首		-				
優楽年限   型皮   国際のの下にの形に				法に基	づき音楽表現及び楽曲	制作に関	し必要とされる技能	上 能を養成し、又は教育の向	上を図	図ることを目的と	する。				
接来性限   接収   接収   接収   接収   接収   接収   接収   接	認定年月日	平成26年					1				1				
型性整定度 型 生態変良 留字生版(8度最高の用 単任教育数 素任教育数 整教育数 200人 105人 1人 10人 33人 243人 243人 243人 243人 243人 243人 243人	修業年限	昼夜	総授業時数又は総単位 数					712							
生徒総定義 生徒実員 留学生数(1982年80)   単行教員数   第4教員数   第4	2 年	昼間	1728		384		384	960		0	単位時間				
# 前期 4月1日~9月30日   成機評価   成機評価   成機評価   一成課評価の基本・万法   前後期に対して、7月21日   日本	生徒総定	į	生徒実員		留学生数(生徒実員の内	Į	厚任教員数	兼任教員数		総					
● 新期 4月1日~9月30日   成績評価の整々方法   一次	200人		105人		1人		10人	33人		4	13人				
要求 学、7月21日~8月31日 学年 末 3月21日	学期制度					•	成績評価	■成績評価の基準・方	法	平常点等総合	評価				
### 15	長期休み	■夏 ■冬	季: 7月21日~8 季: 12月21日~					前後期総合評価結果及	<b>さび2</b> .	/3以上の出版	<b>*</b>				
■主な就職先、業界等(平成20年度年業生) 音楽・エンタテインメント業界  ■ 就職指導内容 ・企業研修、就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CATチャレンジシステム/公開オーディション  ■ 卒業者数 50 人 ■ 配融者望者数 6 人 ■ 配融 第三者数 2 人 ■ 配融 第三者数 10 人 ■ 配融 第三者数 10 96  ■ 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	学修支援等	■個別相談·指導等の対応					課外活動	なし		her.					
音楽・エクタテインメント業界    配販機指導内容   企業研修 が活対策講座/業界企業合同説明会   ・CATデャレンジンステム/公開オーディション		■主た言	↑ <b>学</b> 男 生 / 亚	rt 204	E 庇										
・企業研修・就活対策議座・業界企業合同説明会 ・CATチャレンジンステム/公開オーディション  ■卒業者数 50 人 ■就職希望者数 6 人 ■就職者数 2 人 ■就職事 : 33.33 96 ■ 京職事 : 10 96 ■ 本業者に占める就職者の割合 ・ 道学者数: 0人 ■ 正の他 ・ 道学者数: 0人 ■ 正の他 ・ 道学者数: 0人 ■ 日本の他 ・ 道学者数: 0人 ■ 日本の地 ・ 道学者数: 0人 ■ 中退学科の学生・卒業生のコンテスト人賞状況等 ■ 自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト人賞状況等 ■ 中忠選学 16 96 甲 元政学科 1月1日時点において、在学者 1 2 5 名 (平成30年3月31日卒業者を含む) ■ 中忠選学 2のまな理由 ・ 経済初出者。 ・ 別議監督・ 道と為 ■ 中退率 16 96 ■ 中認単常・ 一本選問が上・中退者支援のための取組 個人面談を定期的に実施個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。 ■ 学校独自の奨学金・授業科等減免制度: 有特性主制度 ■ 専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ・ ※給付対象の場合、前年度の給付実結者数について任意記載 ■ 民間の評価機関等から第三者評価: 無 ・ ※おの場合、例えば以下について任意記載 ■ 民間の評価機関等から第三者評価: 無 ・ ※おの場合、例えば以下について任意記載  ■ 民間の評価機関等から第三者評価: 無 ・ ※活の場合、例えば以下について任意記載 ・ 第四階機関等から第三者評価: 無 ・ ※活の場合、例えば以下について任意記載 ・ 第四階機関等から第三者評価: 無 ・ ※活の場合、例えば以下について任意記載 ・ 第四階機関等から第三者評価: 無 ・ ※活の場合、例えば以下について任意記載 ・ 第四間は、 景価機関、 とは認知を解析したホームページURL) ・ 本ームページにおいて公開(URL: http://www.catac.jp/support/subject.html)					F汉千未工/			国外員代表を行るの間・民間快に等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)							
でA1チャレンジシステム/公開オーディション				. calle ==	1 A AM A CO 5V DO C			資格·検定名	種	受験者数	合格者数				
就職等図		・CATチャレンジシステム/公開オーディション						MIDI検定	3	10人	3人				
就職等図						,									
数職職事の   大沢※2   一本   表別の際には、各資格・検定で等)   表別の際には、各資格・検定で等)   表別の際には、各資格・検定です。   表別の際にものでは、   表別の際には、各資格・検定です。   表別の際には、各資格・検定です。   表別のアンテスト入資状況等   本成29年4月1日時点において、在学者125名(平成29年4月1日入学者を含む)   本成29年4月1日時点において、在学者107名(平成30年3月31日卒業者を含む)   本成29年3月31日時点において、在学者107名(平成30年3月31日卒業者を含む)   本の表別の第1月31日時点において、在学者107名(平成30年3月31日卒業者を含む)   本成20年3月31日卒業者を含む)   本成20年3月31日卒業者を含む   本成20年3月31日中議会を関ロの事業者を関し、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のより、「表別のないとないます。」   本記のより、「表別のないとないます。   本記のより、「表別のないます。   本記のより、「表別のないます。   本記のないます。   本記のないないます。   本記		■就職希望者数     6       ■就職者数     2			<del></del>										
数別版学	お酔生の					主な学修成果									
(平成 28 年度卒業者に関する		■卒業者に占める就職者の割合 : 10 % ■その他				(資格・検定等)	※住所の個には、台資情・保足について、以下の①~②のに引えかれる か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)								
平成29年4月1日 時点において、在学者125名 (平成29年4月1日入学者を含む) 平成29年4月1日時点において、在学者107名 (平成30年3月31日中産退学の主な理由 ・経済的理由 ・別途進路へ進む為 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談を定期的に実施個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。  経済的支援 制度  単学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実積者数について任意記載  第三者による 学校評価  異間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載  第三者による 学校評価 当該学科の 本人ページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/support/subject.html)				de to one	). w			(例)認定学科の学生·卒業	生の=	コンテスト入賞状況	<b>元等</b>				
■中途退学者		(平成													
個人面談を定期的に実施個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。  ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実積者数について任意記載  第三者による 学校評価  ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 「評価団体、受害年月、評価結果と掲載したホームページURL」 当該学科の ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/support/subject.html)		平成29年 平成30年 ■中途边 ・経済的理	<b>退学者</b> €4月1日時点におい €3月31日時点におい <b>退学の主な理由</b> <b>胆由</b>	<b>20</b> て、在	王学者125名(平成:	29年4月1	日入学者を含む)		%						
特待生制度  ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実積者数について任意記載  第三者による 学校評価  ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記述  (評価団体、受審年月、評価結果となお事価は、学校評価  当該学科の ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/support/subject.html)		個人面談	を定期的に実施,個別	のマッ	チング状況を確認。また、	毎月の出り	<b>常率管理を行い保護</b>	者とも連絡を取り登校を促す	ことで	継続意欲を持たけ	±る。				
経済的支援 制度  専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載  第三者による 学校評価  ・ 展間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 ・ 実施団体、受審年月、評価結果と掲載したホームベージURL) ・ ホームベージにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/support/subject.html)				業料等	減免制度: 有	Ī									
第二百による       ※有の場合、例えば以下について任意記載         学校評価       (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)         当該学科の       ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/support/subject.html)		■専門領	<b>実践教育訓練給付</b>												
		※有の場	合、例えば以下につい	ハて任意	記載	ムページロ	RL)								
ポームページ URL	ホームページ	ホームへ	ページにおいて公[	開(URL	L: http://www.cat.ac	.jp/suppo	ort/subject.html)								

(留意事項) 1. 公表年月日(※1) 最新の公表年月日で

1. 公安サ月ロ(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- 2. 就職等の状況(※2) 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

775㎡ 教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容につい ての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

亚成30年3日31日租在

			1 /2000	1 0 / 1 0 . [ ] 5 [
l	名 前	所 属	任期	種別
l	井筒 稔晴	次は日本ハー・日本バックの加工	平成25年12月17日~平成30年3月31日(4年)	1
ı	里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス	平成25年11月28日~平成30年3月31日(4年)	3
ı	稗田 奨	フリー・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
l	井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
ı	森 久誌	株式会社 フォレスト	平成26年10月2日~平成30年3月31日(4年)	3
l	木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス	平成25年12月4日~平成30年3月31日(4年)	3
ı	杉山 徹	ミュージシャン学科 学科長		学校責任者

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回の実施(9月、3月)

(開催日時)

第1回 平成29年10月4日 第2回 平成30年2月23日

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見・音源制作で初稿が通ることはまずない。昨今は完全パッケージに近いマスタリングされたものを提示しなければいけないことが多く、「そこまでの技術・知識」を植え付ける必要がある。「デモ」の意味が変化しており完成形が求められる。

活用状況:曲の発注数は増え、単価が下がる中、一人作業ではクオリティーを維持した対応をしきれません。そこで最近は3名程度で制作チームを組み、リクエストに対応するやり方が多い。「ソングライティング」や「コンポージング」といった楽曲制作の授業では、この手法を取り入れていくようにします。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

・講師派遣における学内授業の実施 ・特別実習における専用施設を使用した実習の実施及び講師派遣 ・前後期試験の実施、作品/実習等における採点、出席率等総合評価を行う。

(3)具体的な連携の例※	(科目数については代表的な5科目について記載。	
科目名	科 目 概 要	連携企業等
アンサンブル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。また、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に至るまでの知識を理解していきます。	有限会社ヘッドライン

学校名		10. 景図可左口		校長名			<b>能</b> 左軸							
キャットミュージッ	クカレベ	設置認可年月			〒564−	-0062	所在地							
ジ専門学校		昭和63年3月30	日	井原 延治		次田市垂水町3-2 (電話)06-6369	9-18 9-1101							
設置者名		設立認可年月	日	代表者名		(电品) 00 0000	所在地							
学校法人大阪創	那学周	昭和63年3月30	ηТ	鈴木 雅文	〒564-		0_10		-					
			ī		入阪村	次田市垂水町3-2 (電話)06-6369	9-18 9-1101							
分野	=3 p/	定課程名		認定学	科名		専門士		高度	<b>E専門士</b>				
文化・教養	文化・	教養専門課程		ミュージシャン学科	4キーボ-	ード専攻	平成17年文部科学 告示第176号	省		-				
学科の目的			法に基	よづき音楽表現及び楽曲	制作に関	し必要とされる技能	L 能を養成し、又は教育の向	上を図	図ることを目的と	する。				
認定年月日	平成26年	手 3月31日 全課程の修了に必要な								1				
修業年限	昼夜	総授業時数又は総単位 数		講義		演習	実習		実験	実技				
2 (5)	昼間	1728		384		384	960		0	0 単位時間				
生徒総定	生徒総定員 生徒実員 留学生数(生徒実員の内				Ī	厚任教員数	兼任教員数		総	教員数				
200人		105人	Ţ	1人		10人	33人			43人				
学期制度		4月1日~9月30 10月1日~3月3			ı	成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方 前後期試験結果及び出		平常点等総合	評価				
長期休み	■夏 ■冬	始め: 4月11日 季: 7月21日~8 季: 12月21日~ 末: 3月21日				卒業·進級 条件	前後期総合評価結果及	<b>さび2</b> .	/3以上の出版	<b>第</b>				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有					課外活動	■課外活動の種類なし							
	<b>■</b> ± t:5	就職先、業界等(平	Eli 20	(年度 京 業 生 )			■サークル活動: ■国家資格・検定/その	\ДЬ . F	無					
	音楽・エンタテインメント業界						(平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)							
		<b></b> 「導内容					資格·検定名	種	受験者数	合格者数				
	・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CATチャレンジシステム/公開オーディション						MIDI検定	3	1人	1人				
	■卒業者数 50 人				,	-								
	■就職希望者数			6	人									
就職等の	■就職者			2 人		主な学修成果								
状況※2	■就職型 ■卒業者 ■その作・進学者数	きに占める就職者の : 也	割合	33.33	%	- (資格·検定等) ※3	※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 「国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)							
		for other the Miles					■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等							
	(平成	29 年度卒業 平成30年5月1日												
中途退学 の現状	平成30年 ■中途i ・経済的理	<b>退学者</b> ≅4月1日時点におい ≅3月31日時点におい <b>退学の主な理由</b>	20 いて、7	在学者125名(平成29年 在学者107名(平成30			率 16	%						
		方止・中退者支援( を定期的に実施,個別			毎月の出り	<b>常率管理を行い保護</b>	者とも連絡を取り登校を促す	ことで	継続意欲を持たせ	±る。				
	■学校∛ 特待生制	虫自の奨学金・授	業料等	· 宗滅免制度: 有				_	·					
経済的支援 制度	■専門領	実践教育訓練給付		非給付対象 績者数について任意記載										
第三者による 学校評価	※有の場	の評価機関等から 合、例えば以下につい 本、受審年月、評価結	ハて任え		ムページロ	IRL)								
当該学科の ホームページ URL	ホームへ	ページにおいて公開	開(UR	L: http://www.cat.ac	jp/suppo	ort/subject.html)								

(留意事項) 1. 公表年月日(※1) 最新の公表年月日で 1. 公安サ月ロ(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2) 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要 な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、キャットミュージックカレッジ専門学校、講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。 その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

### (2)研修等の実績

# ①専攻分野における実務に関する研修等

2017年5月5日Bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年5月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年6月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Metherlatan Treasfer」
2018年1月23日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The OSM2 Caldwell」
2018年2月1日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 Power Divistor Wooten」
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 Power July
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 OSM2 Power July
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 July Hard July Har

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2018年3月29日 株式会社ベネッセiキャリアよ 内容: 学生とのコミュニケーションスキル研修会

### (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

2019年11月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年12月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年1月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導数(2018)

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2019年3月26日 株式会社ペネッセキャリアより講師派遣 教員70名参加 P容:コーチングスキル教員研修会スキル研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ と。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

、ログデススのが、日の下値が全ペインコョー 学校関係者等価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そ して、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「車修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)・寺修子校には300名子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	※該当なし

# ※(10)及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

			1 1%00-	<u> </u>
I	名 前	所 属	任期	種別
	三原 淑治		平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員
I	永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	校長等
I	髙橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	卒業生
	瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/information/public)・平成30年10月末

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

### (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

、ローボーマン・ディストのドロ・エッティの目れなたのング・インロー 本校の理念でもある、"業界にとって信頼できる人材育成機関であると"を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべき である。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	27 023 11 2 12 102-X II CO27/1/II
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協働特別授業、企業の声
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

			養専門課程ミ	ュージシャン学科 ドラム専攻)平成30年	叓								=		
	分類	į						授	業方		場	所	教	員	
必修	必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校 外	専任		企業等との連携
0			音楽業界概論	音楽業界に関する成り立ちや組織などを学習していきます。また、著作権やソーシャルメディアへの対応など現代の音楽ビジネスに関する内容をあわせて学んでいきます。	2	128	8	0			0		0		
0			音楽史	ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成り立ち や、ジャンルの派生、アーティストに関する知識等を学習 します。	1・2年通年	128	8	0			0			0	
0			音楽理論	基礎音楽理論と音楽ジャンルや各種楽器への理解を深めます。譜面の読み方・書き方、基礎理論を学習することにより、読譜力や和音や旋律の基礎知識を学習します。	1・2年通年	64	4	0			0		0		
0			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話応対、 名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書 き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学習 します。	1・2年通年	64	4	0			0			0	
	0		ドラム実技	ドラムという打楽器の奏法を総合的に習得する授業です。 また、ジャンルや音楽スタイルへのアプローチの方法を、 ドラムという打楽器の特性に合わせ、効率良く・効果的に 学習します。	1・2年通年	384	12			0	0			0	
	0		ドラム <del>テ</del> クニック	楽器や機材についての実践的ノウハウなど、さまざまな テーマで講師の持つ個性的な音楽背景をもとに行なわれる 授業です。	1・2年通年	256	8			0	0			0	
	0		<b>グルーヴマスター</b>	著名なアーティスト、ドラマーの代表的な演奏から音楽的なアプローチを学習し、スタイル別、ジャンル別の王道フレーズ・パターンを習得しながら個人のオリジナリティー 発展への基礎を築きます。		128	8		0		0			0	
	0		ト゛ラム リーテ゛ィング゛	スコアリーディングのなかでもドラム演奏に特化した内容 を学習する実技授業です。難易度の高いリズム情報の読み と演奏表現のトレーニングで初見能力の強化を行います。	1・2年通年	128	8		0		0			0	
	0		<del>サ</del> ウンド <i>テ</i> クノロジー	アーティストに必要な音源制作知識及びCD制作のプロセスを、分り易く学ぶ為の講義授業です。DAWを中心とした録音機器のシステムや制作に関する知識を身に付けることが目的です。		128	8		0		0			0	
	0		アンサンブ゛ル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、 ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。ま た、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に 至るまでの知識を理解していきます。		64	2			0	0			0	0
	0		ト゚ラム、ペース、パーカッション、シン セ、ピアノ)初級、上級アンサン プル、作曲論、ワープロ講座、パソコン講座、英会話	選択必修のうち、2科目を個人の方向性に合わせて選択して受講します。専門分野以外の授業も開講しており、音楽業界の内容を幅広く学ぶことを目的として実施しています。	1・2年通年	256	8			0	0			0	
		í	合計	1 2 科目			1	7 2	8単	位時	制	(	7	8単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等
び所定の出席日数により決定する。なお、各科目の試験等の内容については、各5	1 学年の学期区分 2 期
にいがたの山市口数により次定する。なの、台科目の試験寺の内台については、台	1学期の授業期間 16週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

775㎡ 教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容につい ての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

亚成30年3日31日租在

17,000 10							
l	名 前	所 属	任期	種別			
l	井筒 稔晴	次は日本ハー・日本バックの加工	平成25年12月17日~平成30年3月31日(4年)	1			
ı	里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス	平成25年11月28日~平成30年3月31日(4年)	3			
ı	稗田 奨	フリー・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3			
l	井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3			
ı	森 久誌	株式会社 フォレスト	平成26年10月2日~平成30年3月31日(4年)	3			
l	木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス	平成25年12月4日~平成30年3月31日(4年)	3			
ı	杉山 徹	ミュージシャン学科 学科長		学校責任者			

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回の実施(9月、3月)

(開催日時)

第1回 平成29年10月4日 第2回 平成30年2月23日

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見・音源制作で初稿が通ることはまずない。昨今は完全パッケージに近いマスタリングされたものを提示しなければいけないことが多く、「そこまでの技術・知識」を植え付ける必要がある。「デモ」の意味が変化しており完成形が求められる。

活用状況:曲の発注数は増え、単価が下がる中、一人作業ではクオリティーを維持した対応をしきれません。そこで最近は3名程度で制作チームを組み、リクエストに対応するやり方が多い。「ソングライティング」や「コンポージング」といった楽曲制作の授業では、この手法を取り入れていくようにします。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

・講師派遣における学内授業の実施 ・特別実習における専用施設を使用した実習の実施及び講師派遣 ・前後期試験の実施、作品/実習等における採点、出席率等総合評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。										
科目名	科 目 概 要	連携企業等								
アンサンブル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。また、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に至るまでの知識を理解していきます。	有限会社ヘッドライン								

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要 な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、キャットミュージックカレッジ専門学校、講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。 その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

### (2)研修等の実績

# ①専攻分野における実務に関する研修等

2017年5月5日Bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年5月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年6月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Metherlatan Treasfer」
2018年1月23日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The OSM2 Caldwell」
2018年2月1日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 Power Divistor Wooten」
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 Power July
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 OSM2 Power July
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 July Hard July Har

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2018年3月29日 株式会社ベネッセiキャリアよ 内容: 学生とのコミュニケーションスキル研修会

### (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

2019年11月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年12月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年1月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導数(2018)

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2019年3月26日 株式会社ペネッセキャリアより講師派遣 教員70名参加 P容:コーチングスキル教員研修会スキル研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ と。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

、ログデススのが、日の下値が全ペインコョー 学校関係者等価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そ して、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「車修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)・寺修子校には300名子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	※該当なし

# ※(10)及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

			1 1%00-	<u> </u>
I	名 前	所 属	任期	種別
	三原 淑治		平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員
I	永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	校長等
I	髙橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	卒業生
	瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/information/public)・平成30年10月末

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

### (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

、ローボーマン・ディストのドロ・エッティの目れなたのング・インロー 本校の理念でもある、"業界にとって信頼できる人材育成機関であると"を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべき である。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	27 023 11 2 12 102-X II CO27/1/II
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協働特別授業、企業の声
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

	(文化・教養専門課程ミュージシャン学科 キーボード専攻) 平成30年度														
	分類	į						授	授業方法			所			
必修	択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内		専任		企業等との連携
0			音楽業界概論	音楽業界に関する成り立ちや組織などを学習していきます。また、著作権やソーシャルメディアへの対応など現代 の音楽ビジネスに関する内容をあわせて学んでいきます。	1 • 2 年 通 年	128	8	0			0		0		
0			音楽史	ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成り立ち や、ジャンルの派生、アーティストに関する知識等を学習 します。	1 ・ 2 年 通 年	128	8	0			0			0	
0			音楽理論	基礎音楽理論と音楽ジャンルや各種楽器への理解を深めます。譜面の読み方・書き方、基礎理論を学習することにより、読譜力や和音や旋律の基礎知識を学習します。	1 ・ 2 年 通 年	64	4	0			0		0		
0			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話応対、 名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書 き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学習 します。	1 ・ 2 年 通 年	64	4	0			0			0	
	0		キーボード実技	キーボードの奏法を総合的に習得する授業です。また、 ジャンルや音楽スタイルへのアプローチの方法を、音楽理 論を絡めてスケール、コード知識といった側面を含めた演 奏技術として学習します。	1 ・ 2 年通年	384	12			0	0			0	
	0		グル−プレッスン	楽器や機材についての実践的ノウハウなど、さまざまな テーマで講師の持つ個性的な音楽背景をもとに行なわれる 授業です。	1 • 2 年通年	256	8			0	0			0	
	0		キーホ゛ート゛フィシ゛カル	長時間の演奏、テンポの速い楽曲や難易度の高いフレーズ を演奏することに対し、メカニカルなトレーニングを行う ことで、演奏的体力を養うことが目的です。	1 • 2 年通年	128	8		0		0			0	
	0		キーホ゛ート゛ リーテ゛ィンク゛	楽譜の初見能力の強化を目指し、音楽用語や様々な記号の 理解を進めます。また、拍を理解し、リズムの読み方、音 程の読み方、コードの読み方を段階的に進め、より実用的 な読譜能力を習得していきます。		128	8		0		0			0	
	0		ミキシング・ワーク	アーティストに必要な音源制作知識及びCD制作のプロセスを、分り易く学ぶ為の講義授業です。DAWを中心とした録音機器のシステムや制作に関する知識を身に付けることが目的です。	1 • 2 年通年	128	80		0		0			0	
	0		アンサンブ゛ル	アンサンブルを通じて、バンドサウンドにおけるリズム、 ハーモニー、メロディーなどのアレンジを体得します。ま た、ステージ上でのルール、マナー、音響・照明・進行に 至るまでの知識を理解していきます。	1 ・ 2 年 通 年	64	2			0	0			0	0
	0			選択必修のうち、2科目を個人の方向性に合わせて選択して受講します。専門分野以外の授業も開講しており、音楽業界の内容を幅広く学ぶことを目的として実施しています。	1 • 2 年 通 年	256	8			0	0			0	
		1	合計	1 2 科目			1	7 2	8 単	位明	寺間	(	7	8 単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。なお、各科	1 学年の学期区分   2 期
目の試験等の内容については、各学科長及び担任と授業坦務者が打ち合わせの上決定する。	1学期の授業期間   16週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

学校名		設置認可年月	В	校長名			所在地				
キャットミュージッ	クカレッ				〒564−	0062	= =				
ジ専門学権	交	昭和63年3月30		井原 延治	大阪府	次田市垂水町3-2 (電話)06-6369					
設置者名		設立認可年月	日	代表者名	〒564−	0062	<u> </u>				
学校法人大阪創	都学園	昭和63年3月30	日	鈴木 雅文		0002 次田市垂水町3-2 (電話)06-6369	9-18 9-1101				
分野	=3 p.(	定課程名		認定学		(72.00)	専門士		高度	専門士	
文化・教養	文化・	教養専門課程		ミュージシャン学 <sup>は</sup> 作曲アレン			平成17年文部科学省 告示第176号	ì		-	
学科の目的	教育基本	法、及び学校教育	法に基つ	づき音楽表現及び楽曲	制作に関	し必要とされる技能	能を養成し、又は教育の向上	を図る	ることを目的と	する。	
認定年月日	平成26年	手 3月31日 全課程の修了に必要な									
修業年限	昼夜	総授業時数又は総単位 数		講義		演習	実習		実験	実技	
2 年	昼間	1728		384		384	960		0	0 単位時間	
生徒総定	Į	生徒実員	以日	留学生数(生徒実員の内	Į	厚任教員数	兼任教員数		総孝	<b>数</b> 員数	
200人		105人		1人		10人	33人		4	3人	
学期制度		4月1日~9月30 10月1日~3月3				成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方法 前後期試験結果及び出り	Ę	常点等総合詞	平価	
長期休み	■夏 ■冬	台め: 4月11日 季: 7月21日~8 季: 12月21日~ 末: 3月21日				卒業·進級 条件	前後期総合評価結果及	び2/	′3以上の出席		
学修支援等	■個別村	担任制: 目談・指導等の対 庭訪問及び保護		<b>青報共有</b>		課外活動	■課外活動の種類 なし				
	<b>■</b> + +>=	+ 啦 + * * * * * * * * * * * * * * * * *	# 00 F	******			■サークル活動:		開始中午		
	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 音楽・エンタテインメント業界				■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)						
	■就職指導内容 - 企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 - CATチャレンジシステム/公開オーディション ■卒業者数 50 人 ■就職希望者数 6 人						資格·検定名	種	受験者数	合格者数	
							MIDI検定	3	8 人	7人	
					<u> </u>						
	■就職者			2	<del>Ĵ</del>						
就職等の	■就職□			33.33	%	・主な学修成果 (資格・検定等)					
状況※2	■卒業者 ■その他 ・進学者数		9割合 0人	10	%	*3	※獲別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載するのに観す。 ・ (1) 国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他、民間検定等)				
							■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				
	(平成	29 年度卒業									
	■中途记	平成30年5月1日 <b>艮学者</b>	<u>時点の情</u> <b>20</b>	青報)	名	■中退	<u> </u> 率 16.9	%			
中途退学 の現状	平成29年 平成30年 ■中途i ・経済的理	4月1日時点におい 3月31日時点におい <b>退学の主な理由</b>	いて、在:	学者125名(平成29年 E学者107名(平成30	F4月1日フ						
079EU		方止・中退者支援( を定期的に実施,個別			毎月の出り	<b>常率管理を行い保護</b>	者とも連絡を取り登校を促すこ	とで継	続意欲を持たせ	<b>ే</b>	
	■学校3 特待生制	虫自の奨学金・授業	業料等源	咸免制度: 有	Ī						
経済的支援 制度	■専門領	 実践教育訓練給付		非給付対象 『者数について任意記載	i						
第三者による 学校評価	※有の場	り評価機関等から 合、例えば以下につい は、受審年月、評価結	ハて任意	評価: 無 記載 評価結果を掲載したホー	ムページロ	IRL)					
当該学科の ホームページ URL	ホーム^	《一ジにおいて公[	開(URL:	http://www.cat.ac	.jp/suppo	ort/subject.html)					

(留意事項)
1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- 2. 就職等の状況(※2) 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

775㎡ 教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容につい ての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
井筒 稔晴	一般社団法人日本音楽スタジオ協会	平成25年12月17日~平成30年3月31日(4年)	1
里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス	平成25年11月28日~平成30年3月31日(4年)	3
稗田 奨	フリー・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
森の大誌	株式会社 フォレスト	平成26年10月2日~平成30年3月31日(4年)	3
木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス	平成25年12月4日~平成30年3月31日(4年)	3
杉山 徹	ミュージシャン学科 学科長		学校責任者

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回の実施(9月、3月)

(開催日時)

第1回 平成29年10月4日 第2回 平成30年2月23日

### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見・音源制作で初稿が通ることはまずない。昨今は完全パッケージに近いマスタリングされたものを提示しなければいけないことが多く、「そこまでの技術・知識」を植え付ける必要がある。「デモ」の意味が変化しており完成形が求められる。

活用状況:曲の発注数は増え、単価が下がる中、一人作業ではクオリティーを維持した対応をしきれません。そこで最近は3名程度で制作チームを組み、リクエストに対応するやり方が多い。「ソングライティング」や「コンポージング」といった楽曲制作の授業では、この手法を取り入れていくようにします。

### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

### (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。 科目名 科目概要 連携企業等 各授業で学んだ知識や制作・ウハウを実践の場で確認しながら、シミュレーションのなかで制作過程における様々な役割を経験することで、音源制作における視野を広げていくことを目的とします。 コンポージング 株式会社OM FACTORY 実際にクライアントからの要望を想定し、求められた期限、条件の中で曲を 作っていくということ、さらには曲を作るという事だけではなく、クライアントとの 交渉や納品方法等、将来の実務に直結した内容を学習します。 プロダクトワーク 株式会社OM FACTORY

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要 な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、キャットミュージックカレッジ専門学校、講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。 その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

### (2)研修等の実績

# ①専攻分野における実務に関する研修等

2017年5月5日Bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年5月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年6月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Metherlatan Treasfer」
2018年1月23日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The OSM2 Caldwell」
2018年2月1日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 Power Divistor Wooten」
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 Power July
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 OSM2 Power July
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 July Hard July Har

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2018年3月29日 株式会社ベネッセiキャリアよ 内容: 学生とのコミュニケーションスキル研修会

### (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

2019年11月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年12月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年1月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導数(2018)

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2019年3月26日 株式会社ペネッセキャリアより講師派遣 教員70名参加 P容:コーチングスキル教員研修会スキル研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ と。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

、ログデススのが、日の下値が全ペインコョー 学校関係者等価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そ して、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「車修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)・寺修子校には300名子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	※該当なし

# ※(10)及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

			1 1%00-	<u> </u>
I	名 前	所 属	任期	種別
	三原 淑治		平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員
I	永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	校長等
I	髙橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	卒業生
	瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/information/public)・平成30年10月末

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

### (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

、ローボーマン・ディストのドロ・エッティの目れなたのング・インロー 本校の理念でもある、"業界にとって信頼できる人材育成機関であると"を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべき である。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	X 7 0/3 11 2 12 10/- X D C 07 / 1/10
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協働特別授業、企業の声
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

17 11 17 17 17 17 17 17		養専門課程	ミュージシャン学科 音楽制作専攻 作曲ア	レン	/ジ=	<u>1 — </u>			•		_				
分類							授	業方	-	場	所	教	員		
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期		単位数	講業	演習	実験・実習・実技		校外	専任		企業等との連携
0			音楽業界概論	音楽業界に関する成り立ちや組織などを学習していきます。また、著作権やソーシャルメディアへの対応など現代の音楽ビジネスに関する内容をあわせて学んでいきます。	2 年 通 年	128	8	0			0		0		
0			音楽史	ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成り立ち や、ジャンルの派生、アーティストに関する知識等を学 習します。	通年	128	8	0			0			0	
0			音楽理論	基礎音楽理論と音楽ジャンルや各種楽器への理解を深めます。譜面の読み方・書き方、基礎理論を学習することにより、読譜力や和音や旋律の基礎知識を学習します。		64	4	0			0		0		
0			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話応対、名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学習します。	2	64	4	0			0			0	
	0		コンホ゜ーシ゛ンク゛	各授業で学んだ知識や制作ノウハウを実践の場で確認しながら、シミュレーションのなかで制作過程における 様々な役割を経験することで、音源制作における視野を 広げていくことを目的とします。	1 . 2 年通年	256	8			0	0			0	0
	0		プロダクトワーク	実際にクライアントからの要望を想定し、求められた期限、条件の中で曲を作っていくということ、さらには曲を作るという事だけではなく、クライアントとの交渉や納品方法等、将来の実務に直結した内容を学習します。	2	256	8			0	0			0	0
	0		^* ->ック キ-ホ* -ト*	右手でスケール・メロディーラインを、左手で3~4和音の伴奏をすることからはじめ、ロック系・R&B系・ブラック系といったジャンルごとの簡単なデモテープ作成が可能なレベルを習得します。	2	128	4			0	0			0	
	0		ミキシンク゛ワーク	自らの楽曲のミックスからエンジニアリング、またある 程度完成形を予想しての楽曲制作が行えるようにすることを目的とします。	1 . 2 年通年	128	8		0		0			0	
	0		<b>ア</b> レンジメント	メロディー(主旋律)に対してハーモニー(和声)やリ ズムはどの様に構築するものなのか。 といった編曲の 基礎知識と基礎技法を中心に学んでいきます。		128	8		0		0			0	
	0		IJ <b>ス</b> *	ドラムやベースなどのリズム楽器について学習し、楽曲制作におけるリズム楽器のあり方や効果的ない用法などを学びアレンジメントに役立てていきます。	2 年 通 年	128	4			0	0			0	
	0		<b>ウ゛ォーカルレッスン</b>	デモ音源制作における仮歌入れやバンド活動におけるボーカルにおいて必要となるボーカルについて、基礎的な発声から歌唱テクニックを学びます。	1 . 2 年通年	64	4		0		0			0	
	0		演奏実技(ボーカル、ギター、 ドラム、ベース、パーカッション、シン セピアイ)初級,上級アンサン プル、作曲論、ワープロ講 座、パソコン講座、英会話	選択必修のうち、2科目を個人の方向性に合わせて選択 して受講します。専門分野以外の授業も開講しており、 音楽業界の内容を幅広く学ぶことを目的として実施して います。	2	256	8			0	0			0	
		1	合計	1 3 科目				1	7 2	8 単	É位:	時間	(7	6単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。	1 学年の学期区分 2 期
なお、各科目の試験等の内容については、各学科長及び担任と授業坦務者が打ち合わせの上決定する。	1学期の授業期間 16週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

学校名		設置認可年月	н Г	校長名			所在地					
キャットミュージッ	クカレッ				〒564−	0062						
ジ専門学権	交	昭和63年3月30		井原 延治	大阪府	次田市垂水町3-2 (電話)06-6369						
設置者名		設立認可年月		代表者名	〒564−	0062	所在地					
学校法人大阪創		昭和63年3月30	日	鈴木 雅文	大阪府「	次田市垂水町3-2 (電話)06-6369						
分野	=3 p/	定課程名		認定的	学科名		専門士		専門士			
文化・教養	文化・	教養專門課程		ミュージシャン学 デジタルミュー			平成17年文部科学省 告示第176号	î				
学科の目的			法に基づき	き音楽表現及び楽曲	曲制作に関	し必要とされる技能	能を養成し、又は教育の向」	上を図	ることを目的と	 する。		
認定年月日 修業年限	平成26年	平 3月31日 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位		講義		演習	実習		実験	実技		
10 111 110		数 1728		384		384	960		0	0		
2 生徒総定	昼間	生徒実員	<b>成功</b> 。	学生数(生徒実員の内		車任教員数	兼任教員数			単位時間 <b>教員数</b>		
主徒総正! 200人	Ę	105人	宙・	子主致(生徒実員の内 1人	-	<u> </u>	33人			3.具致 3.人		
学期制度		4月1日~9月30 10月1日~3月3		12		成績評価						
長期休み	■夏 ■冬	始め: 4月11日 季: 7月21日~ 季: 12月21日~ 末: 3月21日				卒業·進級 条件	前後期総合評価結果及	<b>U</b> 2.	/3以上の出席	F.		
学修支援等	■個別村	担任制: 目談・指導等の対  庭訪問及び保護		<b>服共有</b>		課外活動	■課外活動の種類 なし					
	■ + <i>t</i> >5	全种生 ************************************	世00年度	方 类 <b>什</b> \			■サークル活動:	/ин . F	無			
		就職先、業界等(平 ンタテインメント業		<b>学耒生</b> )			■国家資格・検定/その <sup>(</sup> (平成29年度 <sup>図</sup>			5月1日時点の情報)		
	■就職指導内容 ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CATチャレンジシステム/公開オーディション						資格·検定名 MIDI検定	種 3	受験者数 8 人	<u>合格者数</u> 7人		
	■卒業者			50	,							
	■就職者 ■就職者	希望者数 考数		2	ᄉ							
就職等の	■就職□			33.33	%	主な学修成果						
状況※2	■卒業者 ■その作 ・進学者数		)割合	10	%	·(資格·検定等) ※3	※種別の欄には、各資格・検定 るか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と ②国家資格・検定のうち、修了と ③その他(民間検定等)					
							■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業5	±の⊐	ンテスト入賞状況	<b>9</b> 等		
	(平成	29 年度卒業 平成30年5月1日										
中途退学 の現状	平成30年 ■中途i ・経済的理	<b>退学者</b> ≅4月1日時点におい ≅3月31日時点にお <b>退学の主な理由</b>	<b>20</b> いて、在学	者125名(平成294			¥ 16 °	%				
		防止・中退者支援・ を定期的に実施,個別			毎月の出り	<b>常率管理を行い保護</b>	者とも連絡を取り登校を促すこ	ことで	継続意欲を持たせ	÷る。		
47 ** 1 ** 1 **	■学校∛ 特待生制	虫自の奨学金・授 度	業料等減	免制度: 有	<u> </u>							
経済的支援 制度		実践教育訓練給付 象の場合、前年度の		非給付対象 f数について任意記載	戈							
第三者による 学校評価	※有の場	の評価機関等から 合、例えば以下につい 本、受審年月、評価結	ハて任意記	載	-ムページU	RL)						
当該学科の ホームページ URL	ホーム^	ページにおいて公	開(URL:	http://www.cat.ac	.jp/suppo	ort/subject.html)						

(留意事項)
1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- 2. 就職等の状況(※2) 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

775㎡ 教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容につい ての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
井筒 稔晴	一般社団法人日本音楽スタジオ協会	平成25年12月17日~平成30年3月31日(4年)	1
里見 匡一	有限会社パブリックミュージックワークス	平成25年11月28日~平成30年3月31日(4年)	3
稗田 奨	フリー・トランジット・ワークス・ミュージック・ファクトリー	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
井尻 健作	株式会社スタジオアッシュ	平成25年11月29日~平成30年3月31日(4年)	3
森の大誌	株式会社 フォレスト	平成26年10月2日~平成30年3月31日(4年)	3
木川 洋	株式会社大阪フェルナンデス	平成25年12月4日~平成30年3月31日(4年)	3
杉山 徹	ミュージシャン学科 学科長		学校責任者

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回の実施(9月、3月)

(開催日時)

第1回 平成29年10月4日 第2回 平成30年2月23日

### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見・音源制作で初稿が通ることはまずない。昨今は完全パッケージに近いマスタリングされたものを提示しなければいけないことが多く、「そこまでの技術・知識」を植え付ける必要がある。「デモ」の意味が変化しており完成形が求められる。

活用状況:曲の発注数は増え、単価が下がる中、一人作業ではクオリティーを維持した対応をしきれません。そこで最近は3名程度で制作チームを組み、リクエストに対応するやり方が多い。「ソングライティング」や「コンポージング」といった楽曲制作の授業では、この手法を取り入れていくようにします。

### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

### (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム構築・個別授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。 科目名 科目概要 連携企業等 各授業で学んだ知識や制作・ウハウを実践の場で確認しながら、シミュレーションのなかで制作過程における様々な役割を経験することで、音源制作における視野を広げていくことを目的とします。 コンポージング 株式会社OM FACTORY 実際にクライアントからの要望を想定し、求められた期限、条件の中で曲を 作っていくということ、さらには曲を作るという事だけではなく、クライアントとの 交渉や納品方法等、将来の実務に直結した内容を学習します。 プロダクトワーク 株式会社OM FACTORY

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要 な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や音楽活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、キャットミュージックカレッジ専門学校、講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。 その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

### (2)研修等の実績

# ①専攻分野における実務に関する研修等

2017年5月5日Bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年5月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北を動灯 Tower of Power」
2017年6月1日日前bilboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The Metherlatan Treasfer」
2018年1月23日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 The OSM2 Caldwell」
2018年2月1日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京 OSM2 Power Divistor Wooten」
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 Power July
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 OSM2 Power July
2018年3月24日日前biboard Live OSMA 東京南海泉北京南北京 July Hard July Har

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2018年3月29日 株式会社ベネッセiキャリアよ 内容: 学生とのコミュニケーションスキル研修会

### (3)研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

2019年11月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年12月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年1月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導教員2名参加 2019年2月Bilboard Live OSAMA 演奏指導数(2018)

### ②指導力の修得・向上のための研修等

2019年3月26日 株式会社ペネッセキャリアより講師派遣 教員70名参加 P容:コーチングスキル教員研修会スキル研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ と。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

、ログデススのが、日の下値が全ペインコョー 学校関係者等価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そ して、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「車修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(と)・寺修子校には300名子校計画カイドノイン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	※該当なし

# ※(10)及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

-			1 /2000	<u> </u>
I	名 前	所 属	任期	種別
	三原 淑治		平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員
I	永田 淳義	科学技術学園高等学校 大阪分室長	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	校長等
I	髙橋 国明	第6期生(1994年卒業)(株式会社白竜社取締役)	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	卒業生
	瀧川 紀征	吹田商工会議所 副会頭	平成25年11月20日~平成30年3月31日(4年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにおいて公開(URL: http://www.cat.ac.jp/information/public)・平成30年10月末

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

### (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

、ローボーマン・ディストのドロ・エッティの目れなたのング・インロー 本校の理念でもある、"業界にとって信頼できる人材育成機関であると"を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべき である。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	X 7 0/3 11 2 12 10/- X D C 07 / 1/10
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協働特別授業、企業の声
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

			養専門課程	ミュージシャン学科 音楽制作専攻 デジタ	ルミ	ュ-	-ジ								
分類							授	業方	-	場	所	教	員		
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技		校外			企業等との連携
0			音楽業界概論	音楽業界に関する成り立ちや組織などを学習していきます。また、著作権やソーシャルメディアへの対応など現代の音楽ビジネスに関する内容をあわせて学んでいきます。	2 年 通 年	128	8	0			0		0		
0			音楽史	ポップスの歴史を通して、現在の音楽シーンの成り立ち や、ジャンルの派生、アーティストに関する知識等を学 習します。	通年	128	8	0			0			0	
0			音楽理論	基礎音楽理論と音楽ジャンルや各種楽器への理解を深めます。譜面の読み方・書き方、基礎理論を学習することにより、読譜力や和音や旋律の基礎知識を学習します。	1 . 2 年通年	64	4	0			0		0		
0			一般教養	仕事への取り組み姿勢、挨拶や敬語の使い方、電話応対、名刺交換の仕方などのビジネスマナーと共に、履歴書の書き方や面接の受け方など就職活動時に役立つスキルを学習します。	2	64	4	0			0			0	
	0		コンホ゜ーシ゛ンク゛	各授業で学んだ知識や制作ノウハウを実践の場で確認しながら、シミュレーションのなかで制作過程における 様々な役割を経験することで、音源制作における視野を 広げていくことを目的とします。	1 . 2 年通年	256	8			0	0			0	0
	0		プロダクトワーク	実際にクライアントからの要望を想定し、求められた期限、条件の中で曲を作っていくということ、さらには曲を作るという事だけではなく、クライアントとの交渉や納品方法等、将来の実務に直結した内容を学習します。	2	256	8			0	0			0	0
	0		^* ->ック キ-ホ* -ト*	右手でスケール・メロディーラインを、左手で3~4和音の伴奏をすることからはじめ、ロック系・R&B系・ブラック系といったジャンルごとの簡単なデモテープ作成が可能なレベルを習得します。	2	128	4			0	0			0	
	0		ミキシンク゛ワーク	自らの楽曲のミックスからエンジニアリング、またある 程度完成形を予想しての楽曲制作が行えるようにすることを目的とします。	1 . 2 年通年	128	8		0		0			0	
	0		<b>プ</b> レンジ <sup>*</sup> メント	メロディー(主旋律)に対してハーモニー(和声)やリズムはどの様に構築するものなのか。 といった編曲の基礎知識と基礎技法を中心に学んでいきます。		128	8		0		0			0	
	0		Cubase実技	CubaseでのMIDIの打ち込みを中心に、MIDI検定3級に向けた内容を学んでいきます。また、オーディオ編集から簡単なレコーディングに至るまで、Cubaseの基本的な機能を理解する事も目的としています。	2 年 通 年	128	4			0	0			0	
	0		シンセサイサ <sup>*</sup> ー システム	シンセサイザーを理解し、操作・音色制作を行うことを 目的とします。また、デジタルであるコンピュータ上の ソフトウェアシンセサイザーに対する理解も深めます。		64	4		0		0			0	
	0		演奏実技(ボーカル、ギター、 ドラム、ベース、パーカッシコン、シン セピアイ)初級,上級アンサン ブル、作曲論、ワープロ講 座、パソコン講座、英会話	り、、音楽業界の内容を幅広く学ぶことを目的として実	2	256	8			0	0			0	
		1	合計	1 3 科目				1	7 2	8 単	€位□	诗間	(7	6単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。	1 学年の学期区分  2 期
なお、各科目の試験等の内容については、各学科長及び担任と授業坦務者が打ち合わせの上決定する。	1学期の授業期間   16週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。